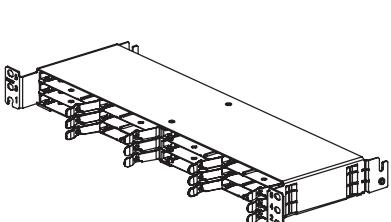
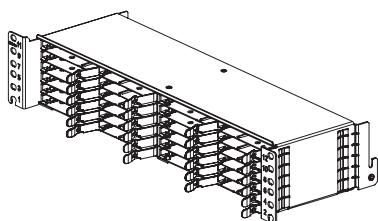


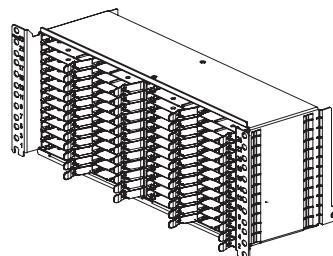
注意: HD Flex パッチパネルは、HD Flex シリーズ製品と互換性があります。HD Flex は他のシステムとは互換性がない場合があります。



FLEX1UPN**



FLEX2UPN**



FLEX4UPN**

** は 04、06、または 12 を示しています

梱包内容 : (#) は FLEX4UPN の数量を示します**

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1 - パッチパネル | 4 (8) - #12-24 x 1/2 インチネジ |
| | 4 (8) - M x 1.0 x 15mm ネジ |

警告 :接続していない状態のコネクタはレーザー光線を放射している可能性があります。コネクタの終端を直接目視したり、顕微鏡などで見ないでください。
接続していないコネクタにはダストキャップを取り付けてください。

注意 :
光ファイバーケーブルは、過度の張力・屈曲・圧迫によって破損する恐れがあります。ケーブル製造会社の仕様書や取扱説明書に従い作業を行ってください。

成端の際は、TIA/EIA-568-A、569、606、および 607 の施行ガイドラインに従ってください。
ファイバー製品を保護するため、配線済みのエンクロージャーを開閉するときは注意が必要です。

組立図 (FLEX1UPN 図)**

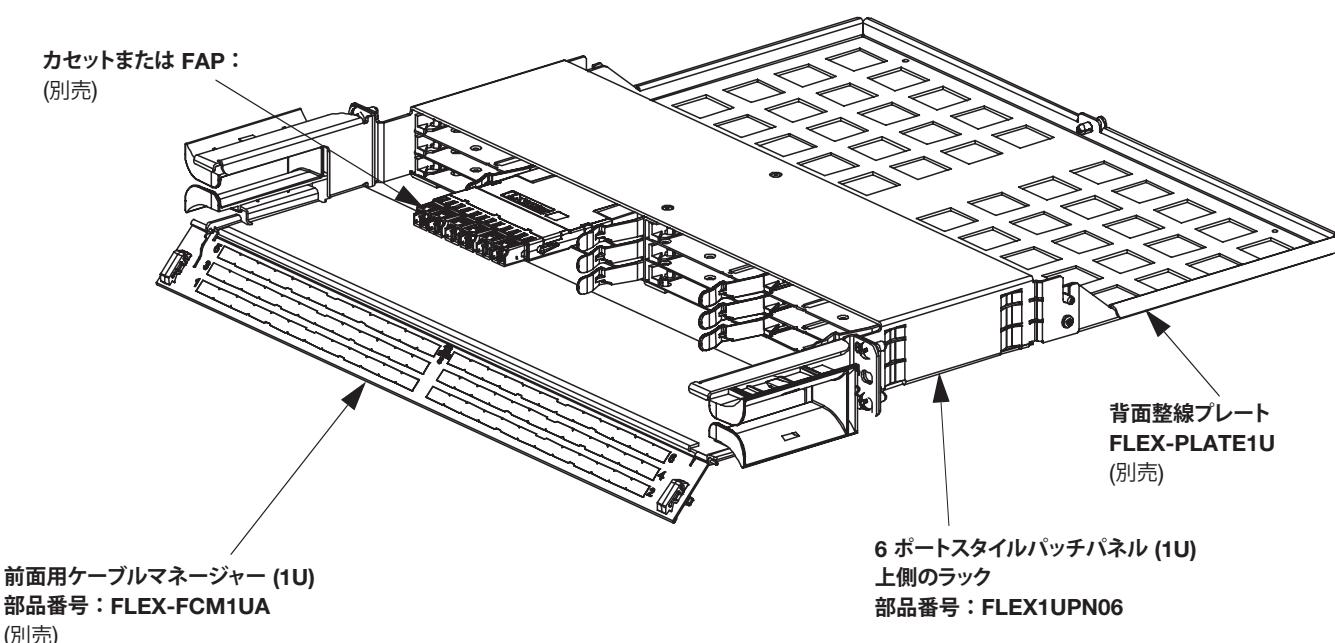


図 1

ラックへの取り付け

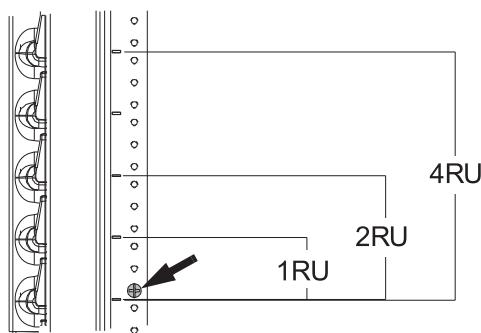


図 2

パッチパネルの上部の RU スペースが開いている場合は、2 本のネジ (ラックの両側に 1 本ずつ) をある程度までネジ穴に差し込みます。これらのある程度まで差し込んだネジは、パッチパネルをラックに取り付ける際に役立ちます。

- すべてのパッチパネルでは、目的のラック位置の下部の穴の位置に 2 本のネジを事前に差し込んでおきます。

パッチパネルの上部に RU スペースが開いていない場合、ネジを事前に差し込まないでください。パッチパネルを所定の位置に配置し、少なくとも 4 本のネジで固定します。

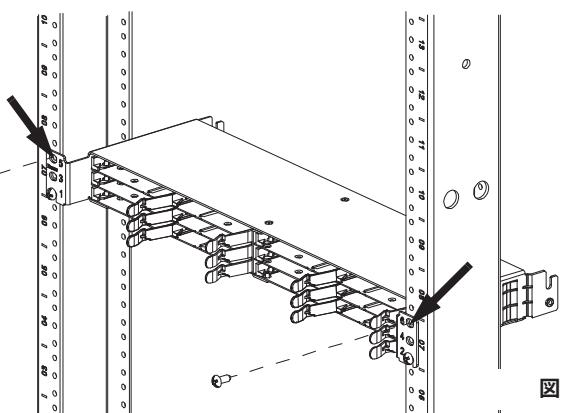
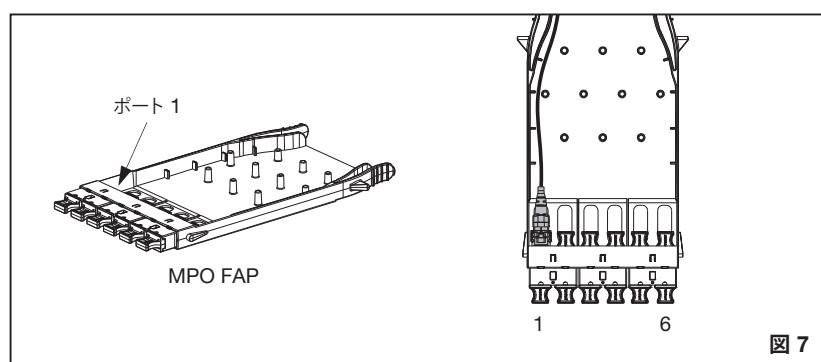
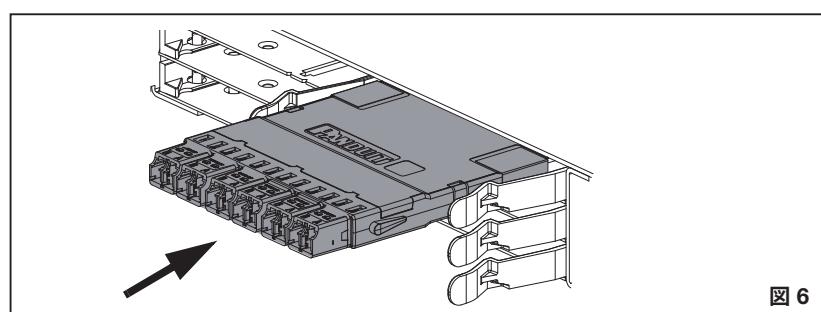
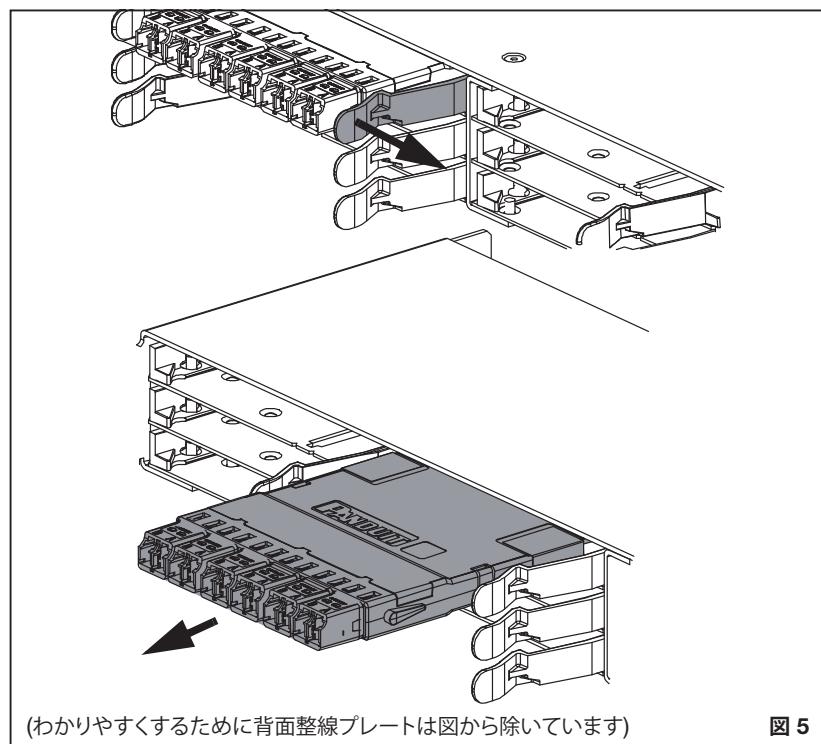
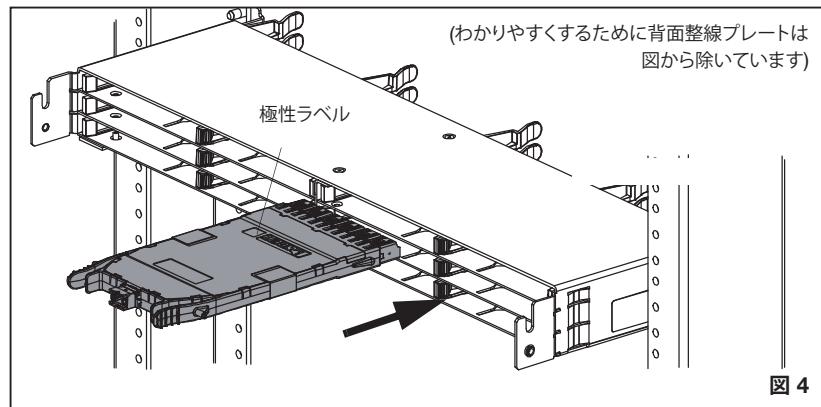


図 3

事前に差し込んでおいたネジの取り付け方法では、パッチパネルをラックに入れて、ある程度まで差し込まれたネジの上にパッチパネル固定ブラケットが乗るようにします。

残りのネジを取り付け、すべてを締め付けてエンクロージャーを固定します。少なくとも 4 本のネジを使用します。

カセットの組み立て(別売)



まず、取り付けるカセットまたはFAPの背面ポートにトランクケーブルを接続します。カセットの極性ラベルに注意し、必要に応じて適切な向きにします。

カセットは、図に示されているように、右側の一番下のスロットから一度に1つずつ取り付ける必要があります。カセットを取り付けるには、スロットに挿入し、カチッとはまるまで前方に押します。

上段に移る前に、一つの段を右から左に取り付けていきます。必要なすべてのスロットがいっぱいになるまで、プロセスを繰り返します。

カセット最大搭載数

	4ポートスタイル	6ポートスタイル	12ポートスタイル
FLEX1UPN04	18	--	--
FLEX1UPN06	--	12	--
FLEX1UPN12	--	--	6
FLEX2UPN04	36	--	--
FLEX2UPN06	--	24	--
FLEX2UPN12	--	--	12
FLEX4UPN04	72	--	--
FLEX4UPN06	--	48	--
FLEX4UPN12	--	--	24

カセットは、交換または移行の必要に応じて、パッチパネルの前面から取り外すことができます。

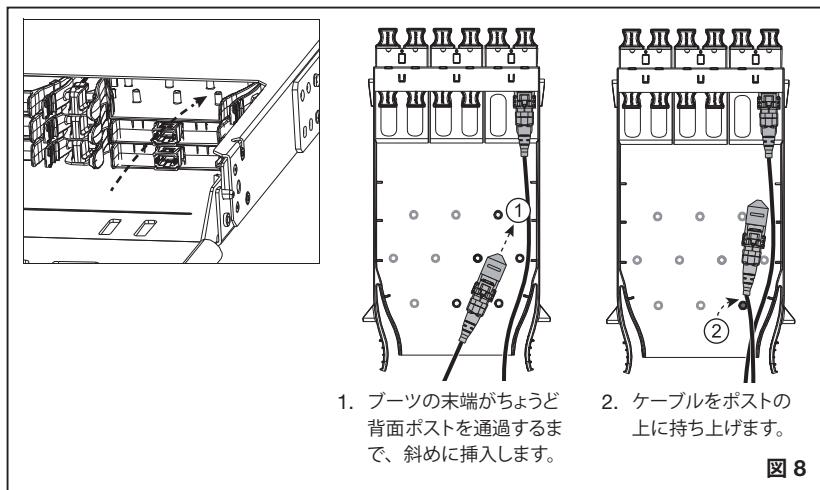
カセットの前面からパッチコードを外します。

ラッチを押してカセットを前方に引き出します。ラッチを通過したら、カセットを完全に取り外すことができます。

カセットの背面からトランクケーブルを取り外し、交換用カセットの背面に接続します。カセットまたはMPO FAPを取り外したときは逆の方法で再度取り付けます。カセットまたはMPO FAPの背面を開口部に合わせ、所定の位置に掛かるまで内側に押し込みます。パッチコード(カセット交換用)を取り付けます。

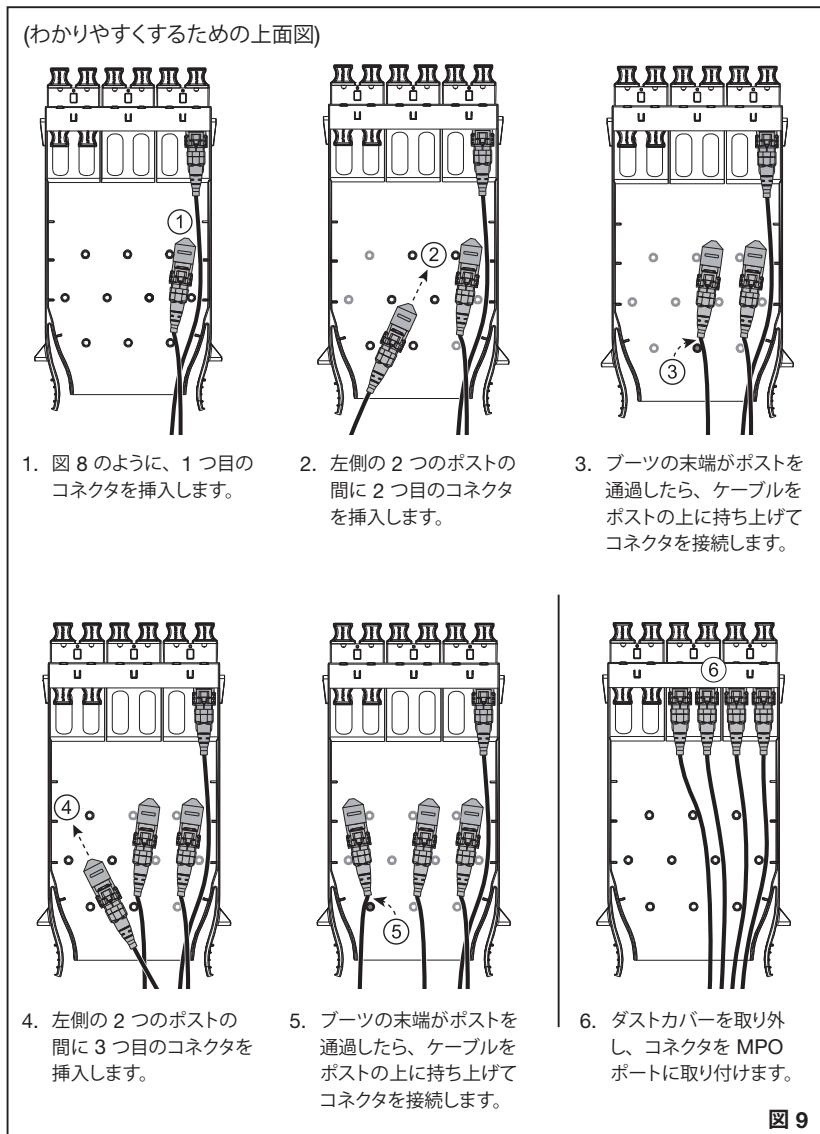
MPO FAPに移行する場合、MPOトランクケーブルを左端のポート1に接続します。

追加の MPO トランクの取り付け



パッチパネルの背面から、追加の MPO トランクケーブルを追加する FAP を選択します。MPO コネクタを FAP 背面のポスト間を斜め方向に挿入します(図 8 の手順 1)。ブーツの末端がちょうど背面ポストを通過するまでコネクタを押し込んだら、ポストの上にケーブルを持ち上げて、コネクタを所定の位置に接続します(図 8 の手順 2)。

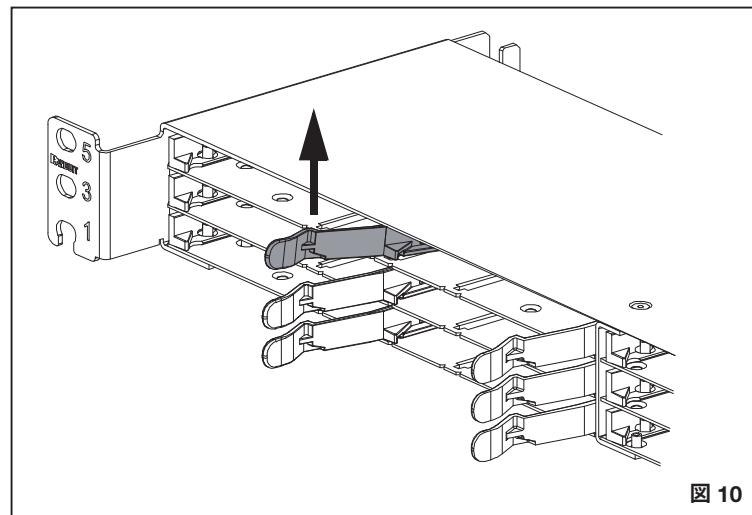
パッチパネルの前面に移動し、MPO トランクケーブルが接続されている FAP を引き出します。ダストカバーを取り外し、MPO を FAP の適切なポートに接続します。



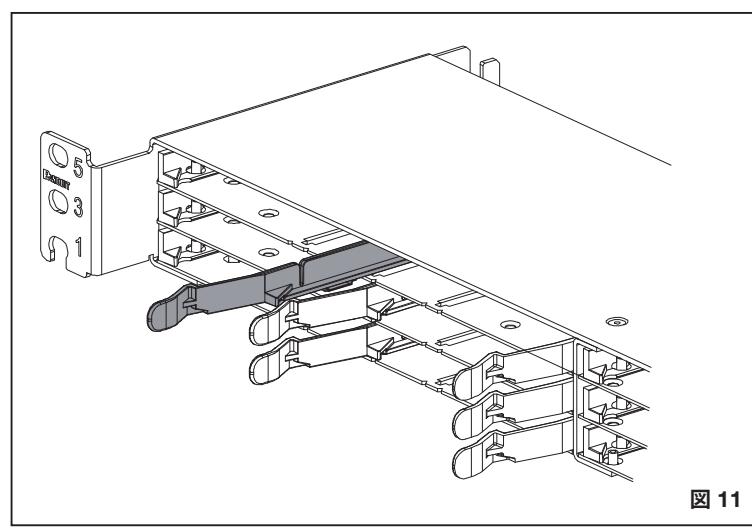
FAP は、一度に最大 3 つの MPO コネクタを接続できます(図 9 参照)。

すべてのコネクタをしっかりと接続したら、パッチパネルの前面に移動して FAP を引き出します。ダストカバーを取り外し、MPO コネクタを適切なポートに取り付けます(図 9 の手順 6)。

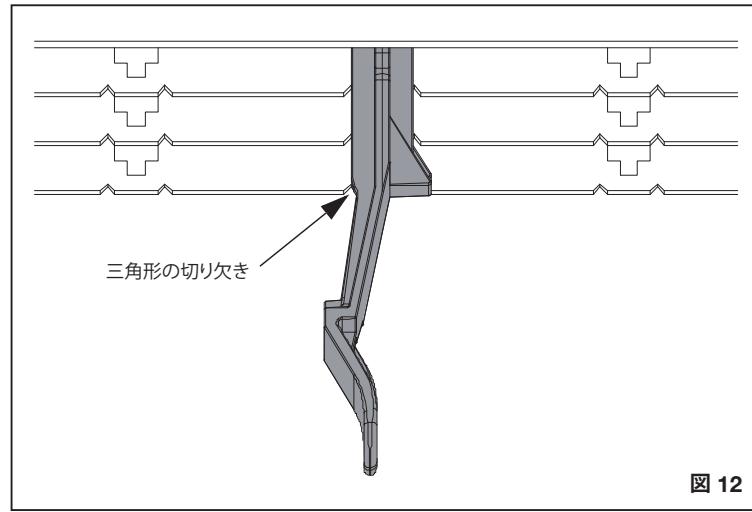
パッチパネルの再構成 (12 ポートもしくは 4 ポートカセット搭載時)



取り外すレールを選びます。ラッチの端をつかんで、取り外すレールを引き上げます。



取り外すレールに上向きに圧力をかけ続けながら、レールを前方に引いて、取り外します。



レールを三角形の切り欠きの間に合わせ、取り外しプロセスの逆を行って、レールをパッチパネルに取り付けることができます。レールの裏側にある突起を切り欠き辺りで後方にスライドさせると、突起とパッチパネルが噛み合います。レールが完全に再挿入されると、レールの前面が所定の位置に固定されます。レールを前方に引いて、レールが正しく取り付けられていることを確認します。

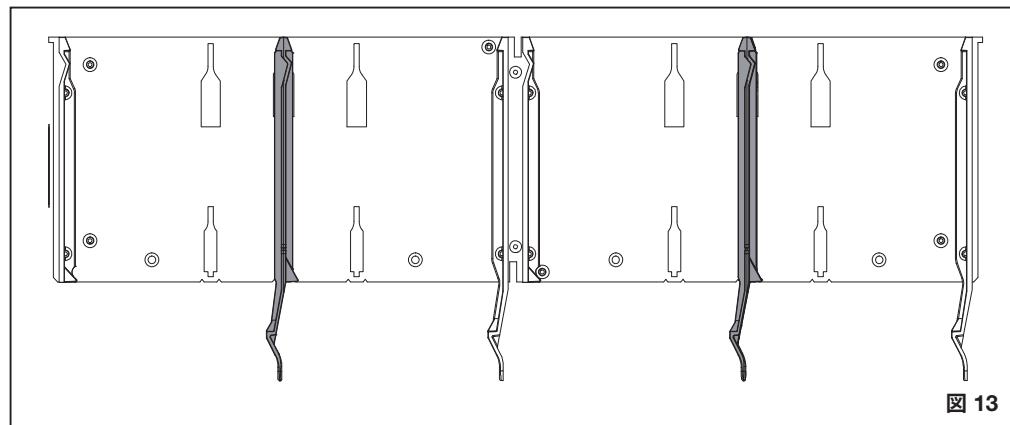
トレイの構成 (わかりやすくするためにパッチパネルのトレイのみを示しています)

図 13

6 ポートスタイル：トレイごとに 2 つの黒の取り外し可能レール

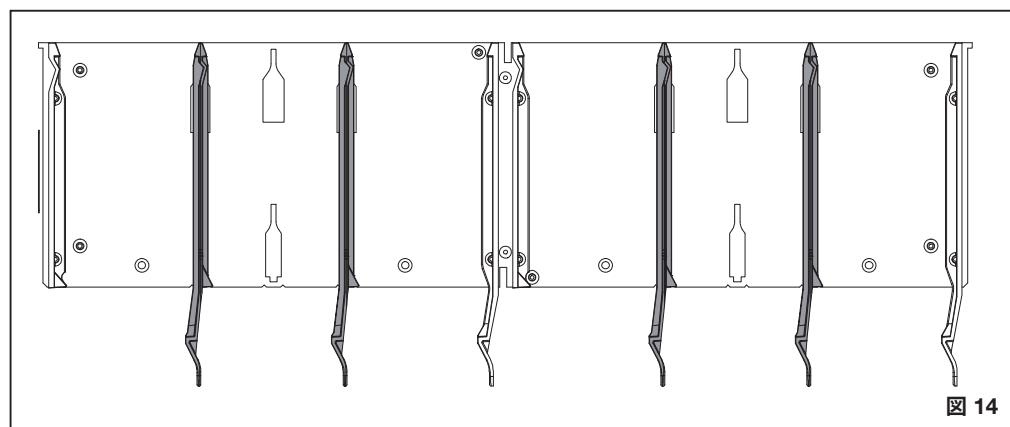


図 14

4 ポートスタイル：トレイごとに 4 つの白の取り外し可能レール

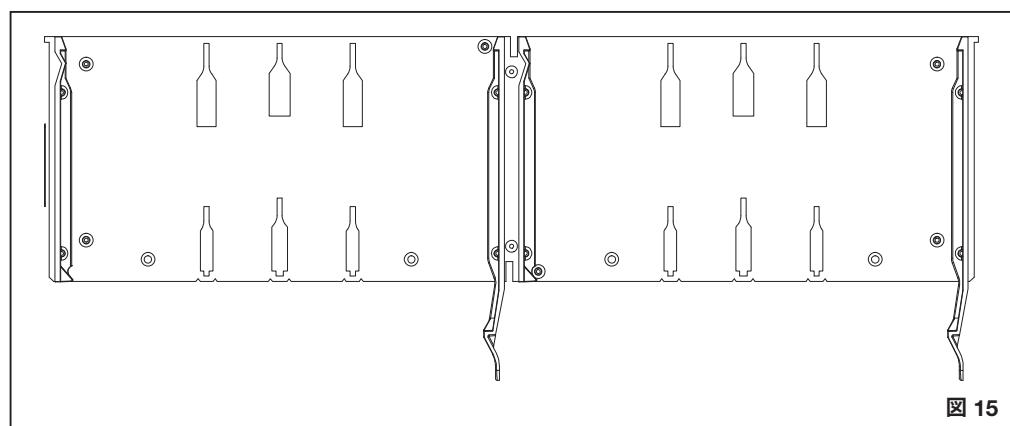


図 15

12 ポートスタイル：トレイに取り外し可能レールは取り付けられていません

背面整線プレートの取り付け (別売)

(わかりやすくするためにラックは図から除いています)
FLEX-PLATE1U の図

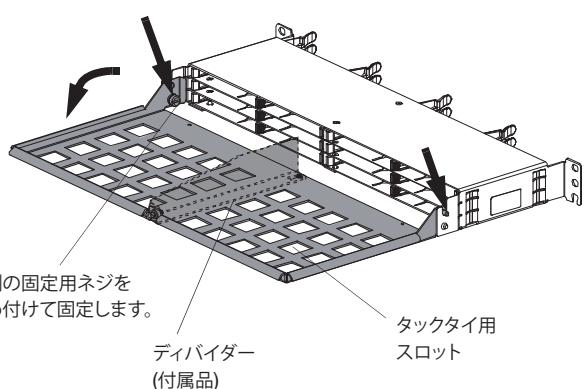


図 16

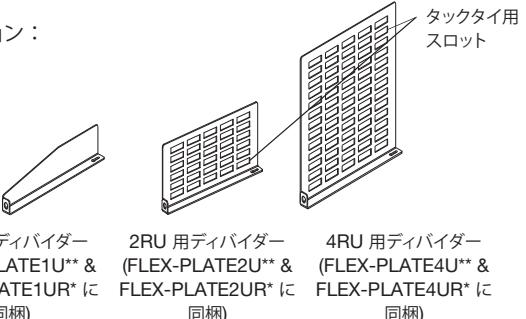
** は 04、06、または 12 を示しています

*=白色の場合は W、黒色の場合は末尾なし

背面整線プレート (パンドウイット部品番号 : FLEX-PLATE1U、FLEX-PLATE2U、FLEX-PLATE4U、FLEX-RCM1U、FLEX-RCM2U & FLEX-RCM4U) は、パッチパネルの背面に取り付けます。プレートのピンをパッチパネルのスロットに噛み合わせて取り付けます。固定用ネジを締め付けて固定します。

背面整線プレートには、ケーブルの整理と管理に役立つオプションのディバイダーが含まれています。ディバイダーは分割配線の場合に推奨されます。すべてのリアケーブルをラックの片側に配線する場合は、使用しないでください。

オプション :



パッチパネル専用背面カバー付きプレートの取り付け (FLEX-PLATE1UPR*、FLEX-PLATE2UPR*、FLEX-PLATE4UPR*)

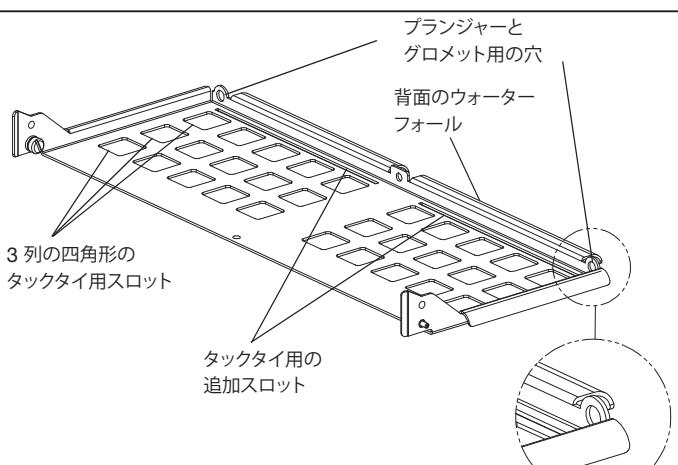


図 17

パッチパネル専用背面カバー付きプレート (FLEX-PLATE*UPR*) には、以下の三点が入っています：

1. 背面カバーに対応するパッチパネル背面整線プレート

背面カバーに対応するパッチパネルの背面整線プレートには、以下のような、FLEX-PLATE*U の背面整線プレートとは異なる複数の特徴があります。

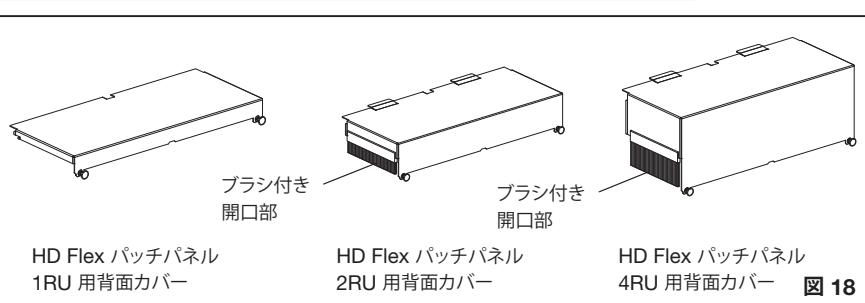
- 全長が短い (四角形のタックタイ用スロットは 4 列ではなく 3 列)
- グローメットを取り付けたり、背面カバー付きプレートを背面整線プレートに取り付けるための穴がフランジある
- パッチパネルから出るケーブルを押さえるためのタックタイ用の追加スロット

背面カバーは、適切に取り付ければ背面整線プレートの背面のウォーターフォールに収まります。タックタイを背面整線プレート背面のウォーターフォールに巻き付けてタイダウンポイントを使用する代わりに、追加のスロットを使用してタイダウンポイントをつくり、スラック管理プレートからケーブルを適切に配線します。

2. 背面カバー (FLEX-PLATE1UPR*、FLEX-PLATE2UPR*、および FLEX-PLATE4UPR* 用の 1RU、2RU、および 4RU のオプション)

2RU および 4RU の背面カバーのケーブル出口には、開口部を保護するためのブラシが付いています。

*=白色の場合は W、黒色の場合は末尾なし



3. パッチパネル用垂直ディバイダー (1RU、2RU、および 4RU 用、付属品)

垂直ディバイダーは、FLEX-PLATE*U に含まれる垂直ディバイダーより約 38mm (1.5インチ) 短くなっています。パッチパネル用のディバイダーは、タックタイ用のスロットが1列少なくなっています。

* 1RU=1、2RU=2、4RU=4

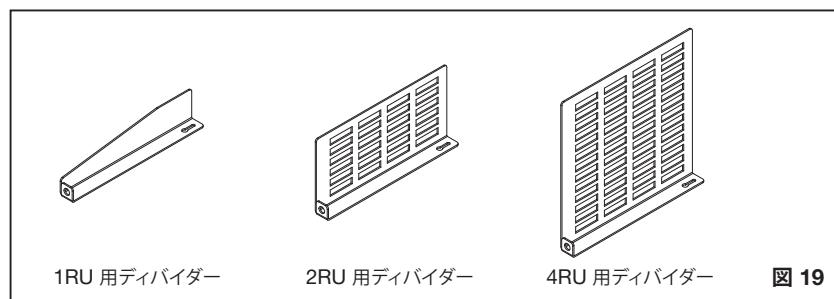


図 19

背面カバー付き整線プレートは、前述のエンクロージャー背面整線プレートと同じ方法で取り付けることができます。プレートのピンをエンクロージャーのスロットに差し込んで取り付けます。固定用ネジを締め付けて固定します。

(わかりやすくするためにラックは図から除いています)

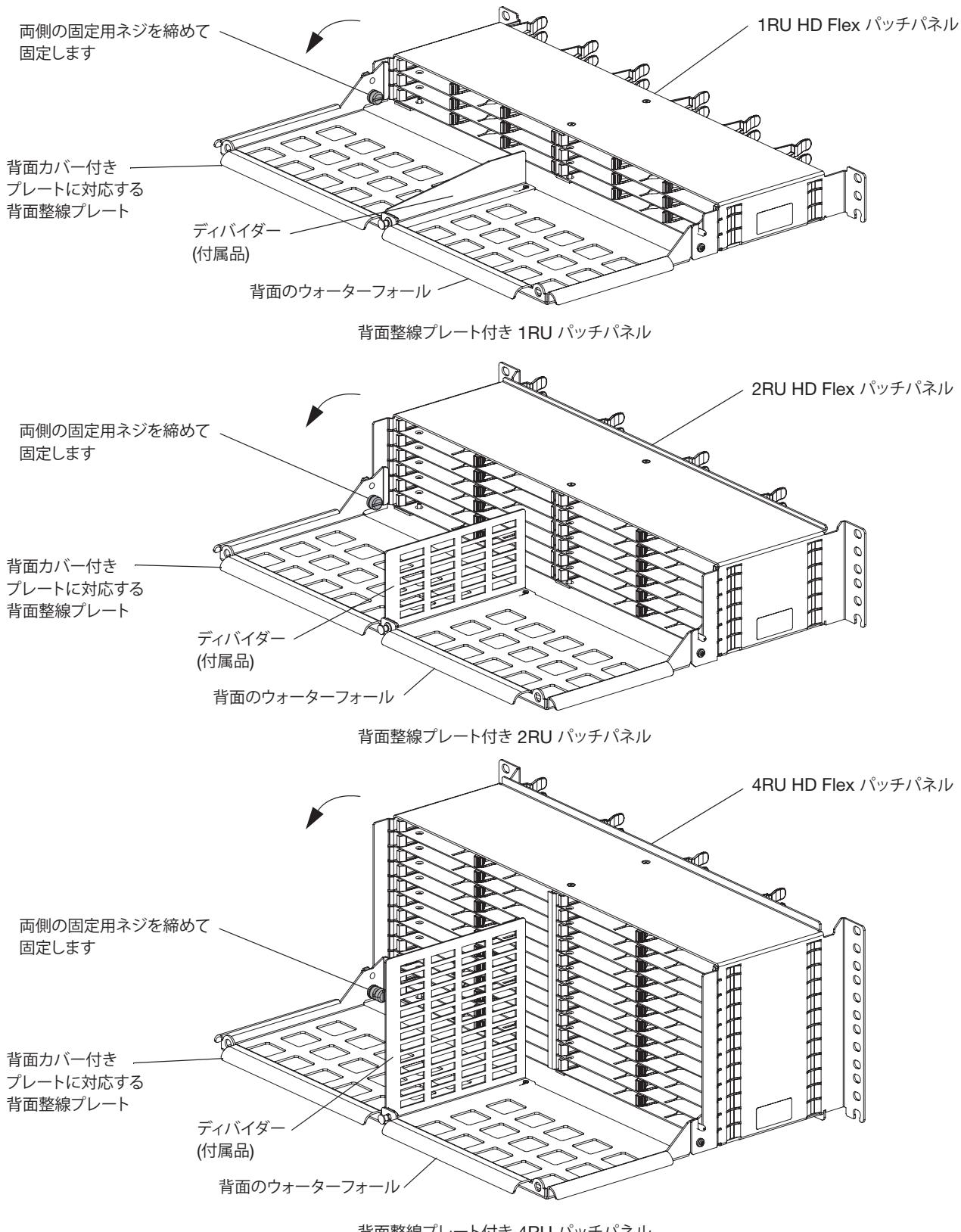
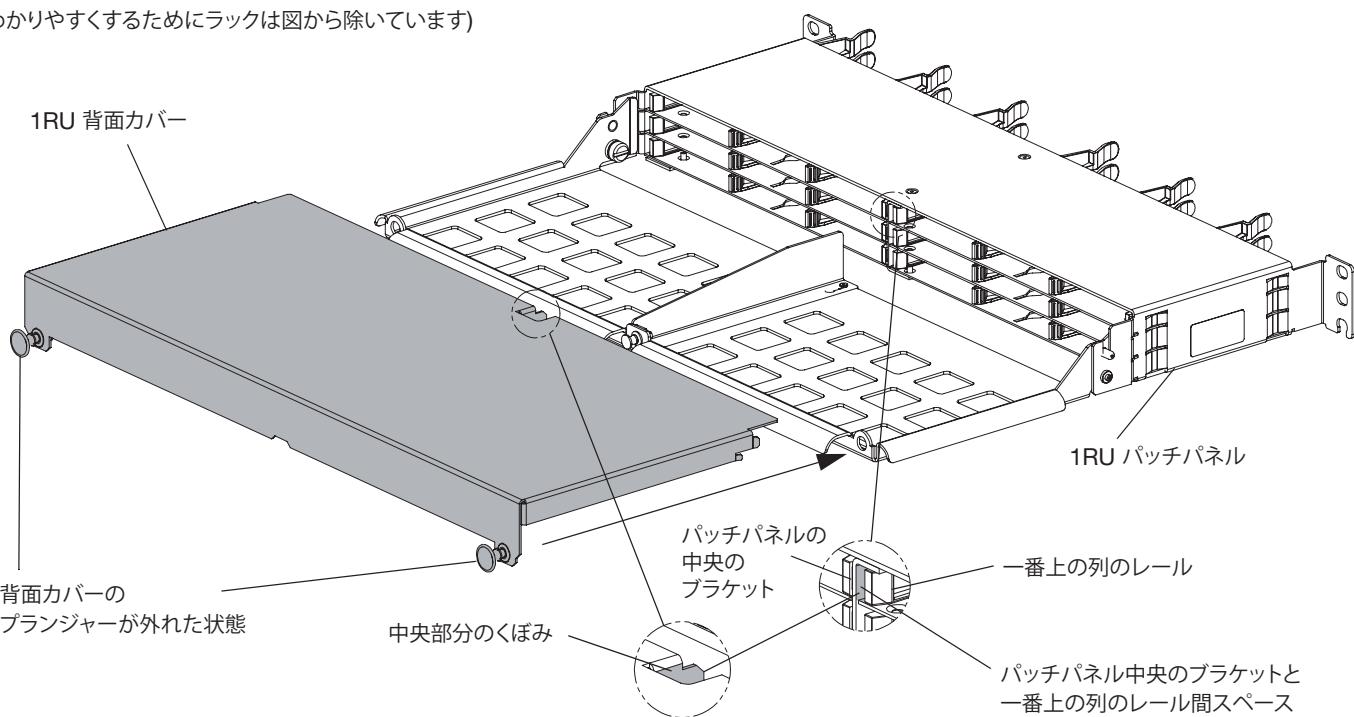


図 20

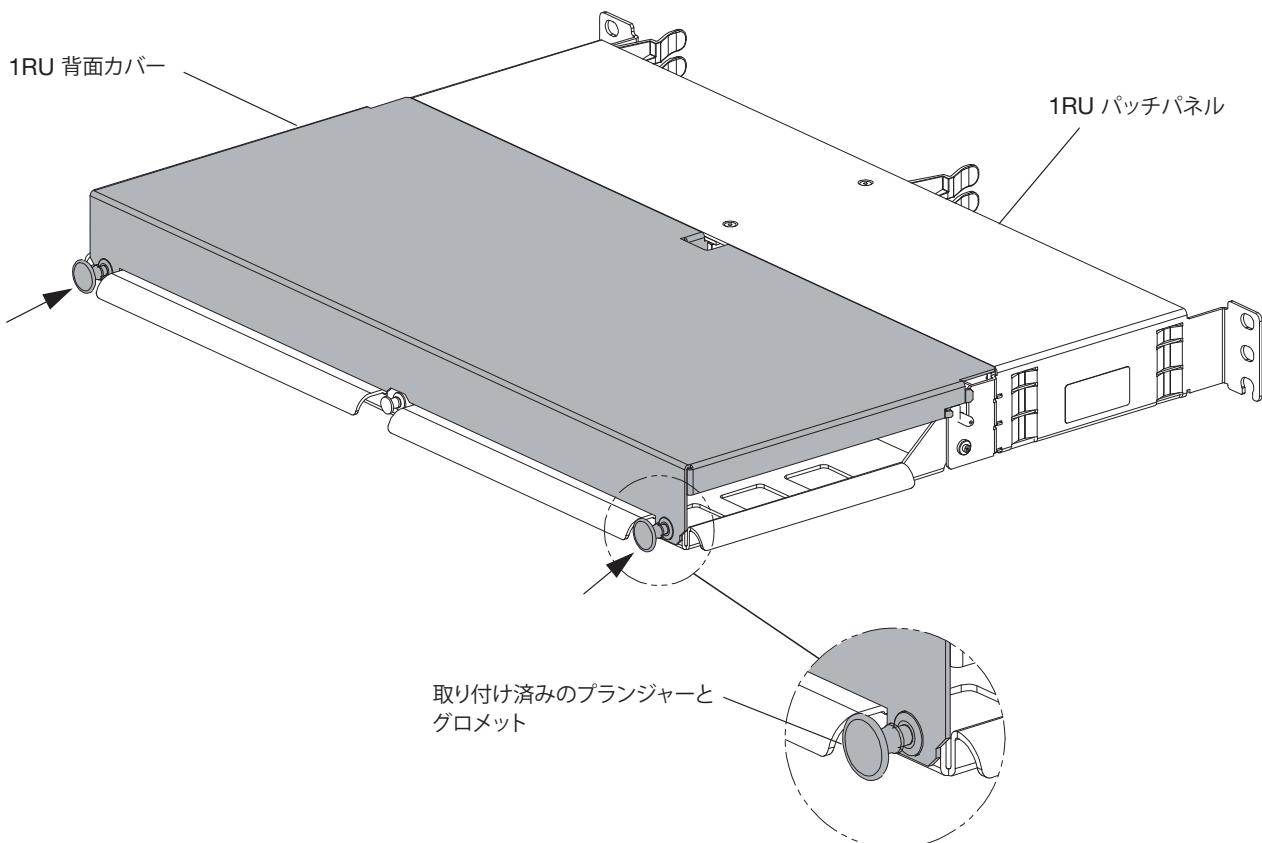
背面カバーを取り付けるには、プランジャーを背面整線プレートの穴に挿入した後で押し下げて、背面整線プレートの上に背面カバーをスライドさせます。適切に取り付けるには、背面カバーの中央部分のくぼみを、パッチパネル中央のブラケットと一番上の列のレール間スペースに配置する必要があります。

(わかりやすくするためにラックは図から除いています)



背面カバー取り付け中の 1RU パッチパネル

図 21



背面カバー取り付け済みの 1RU パッチパネル

図 22

2RU および 4RU オプションの場合、正しく取り付けられていれば上部フランジがパッチパネルの上部にあります。

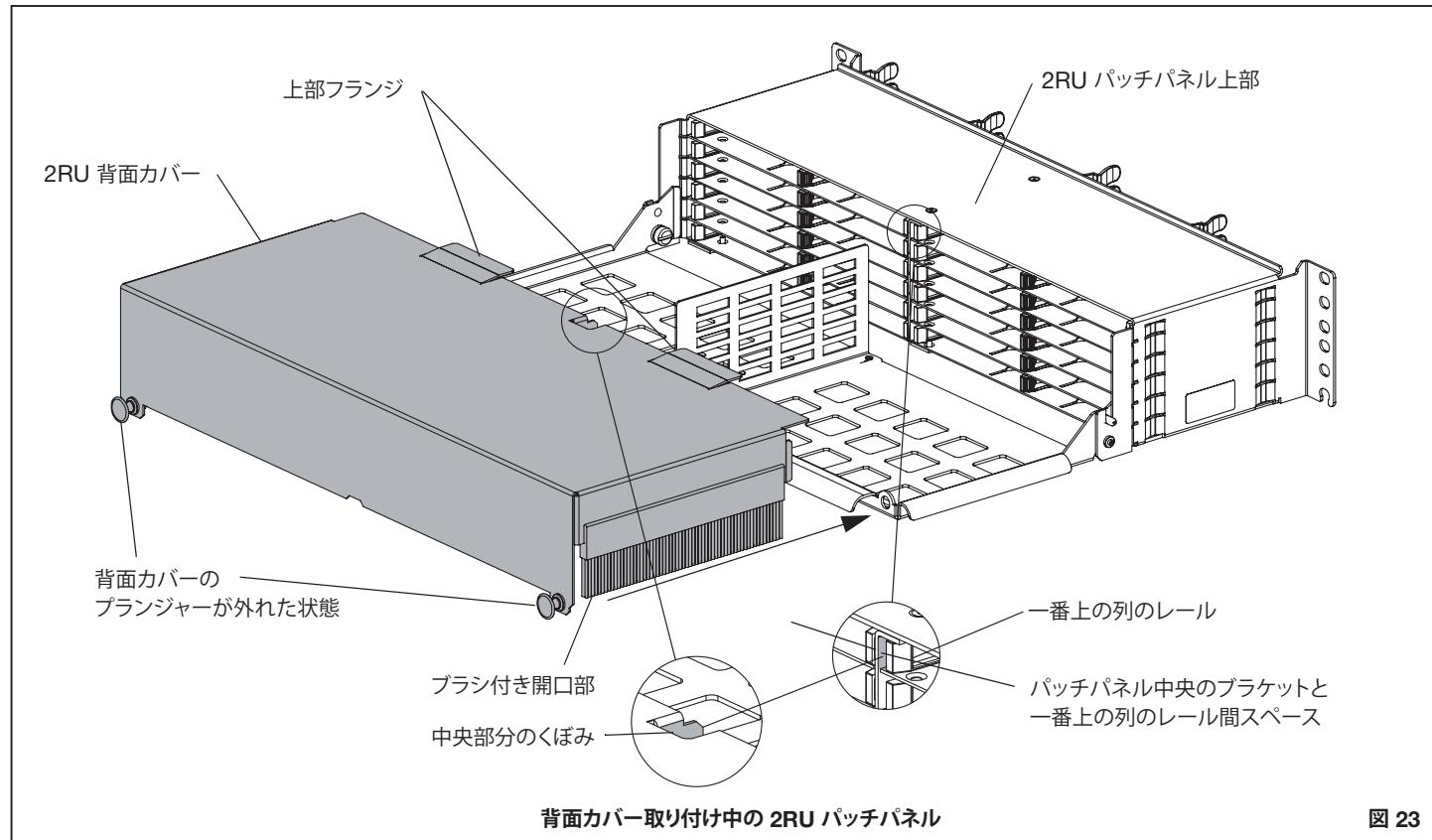


図 23

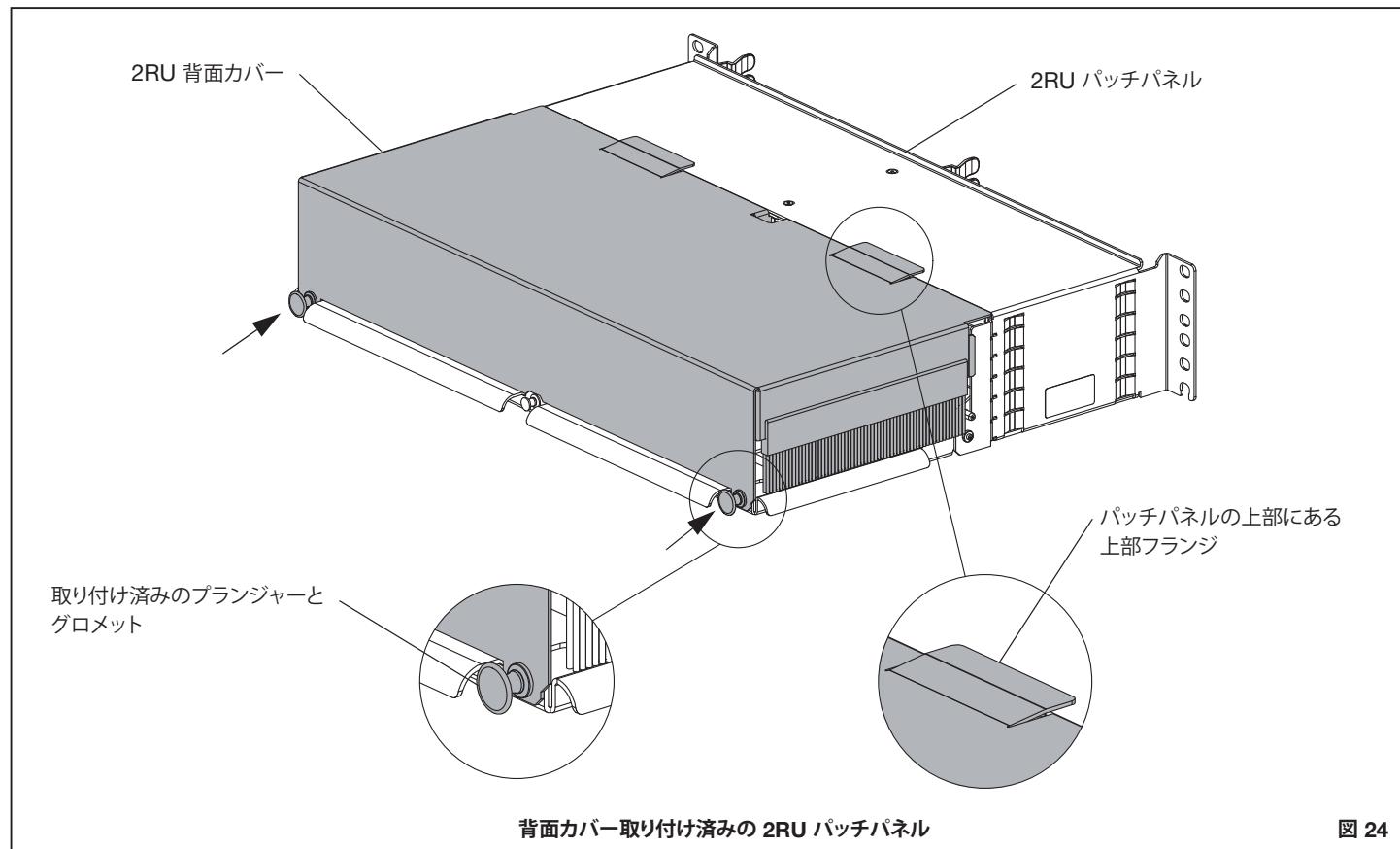


図 24

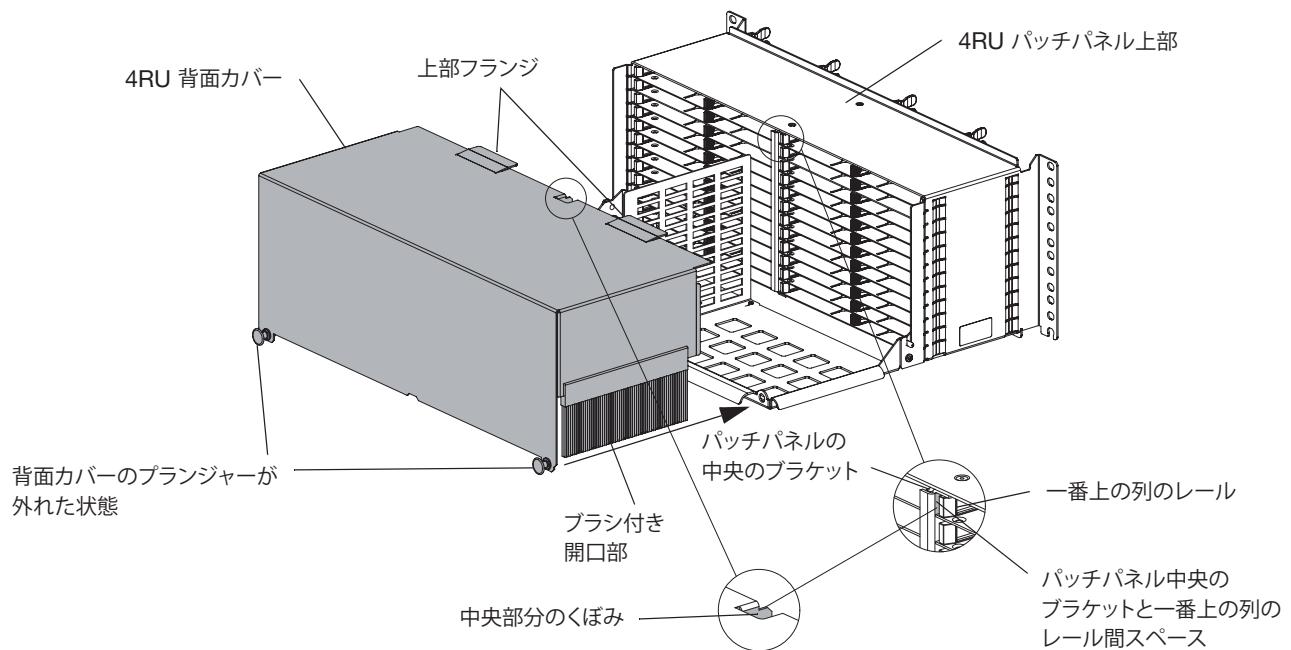


図 25

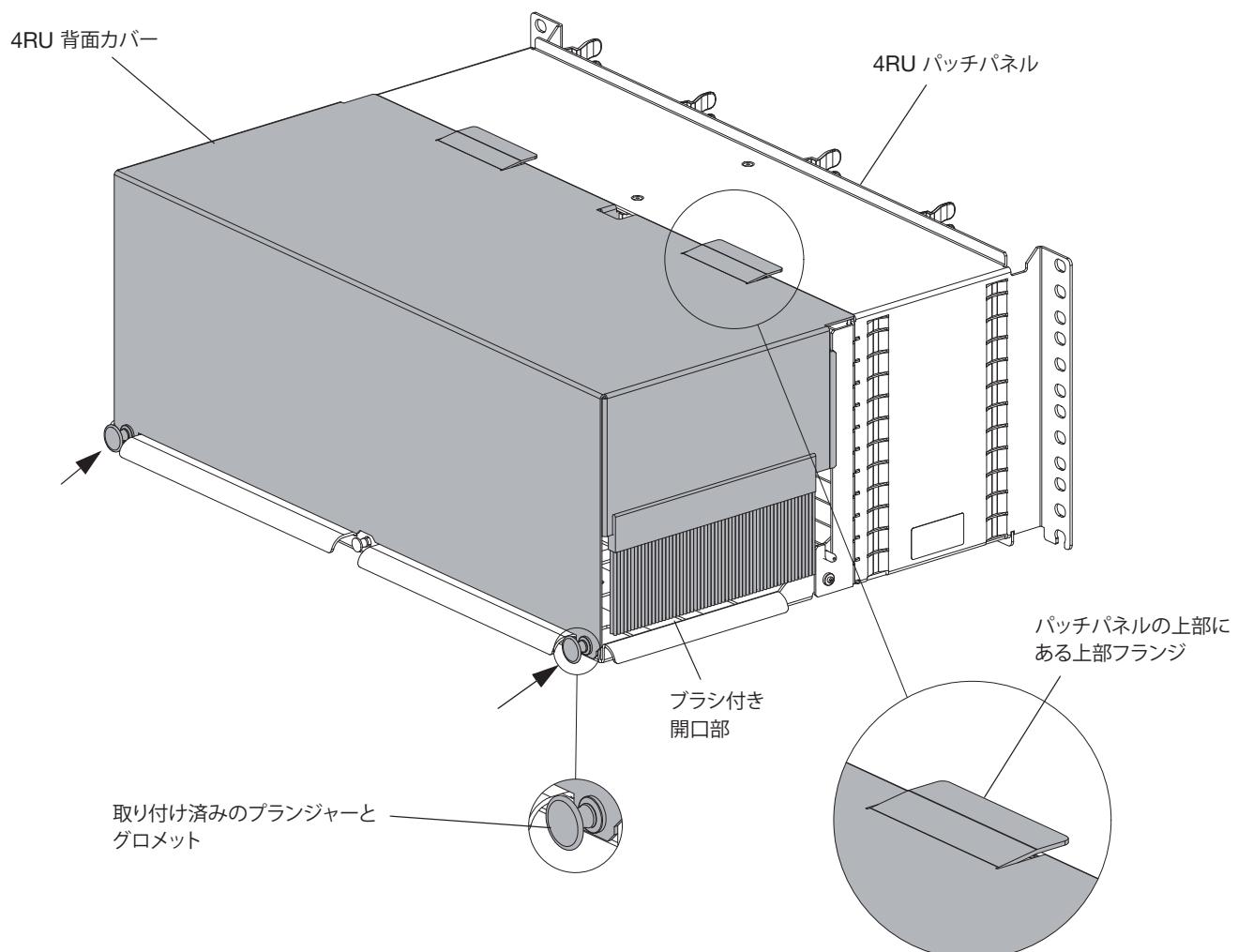
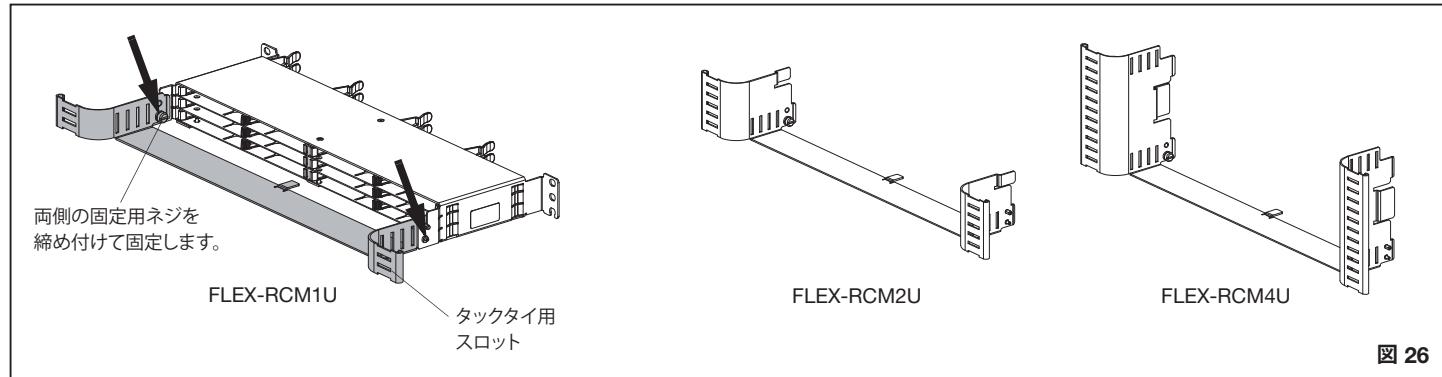
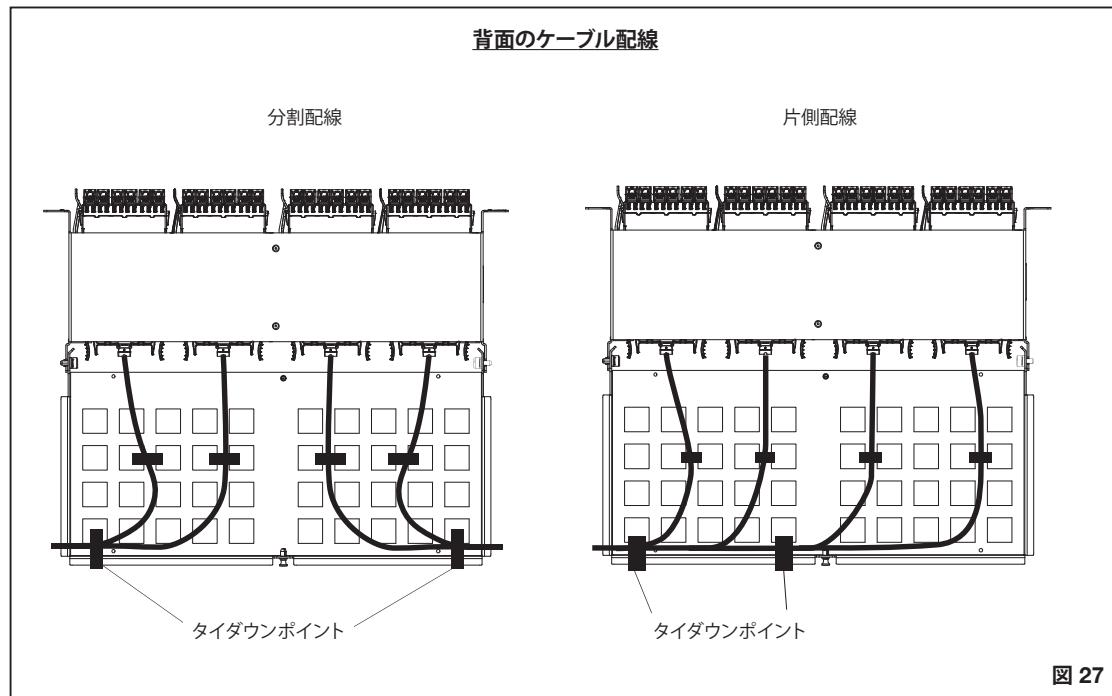


図 26

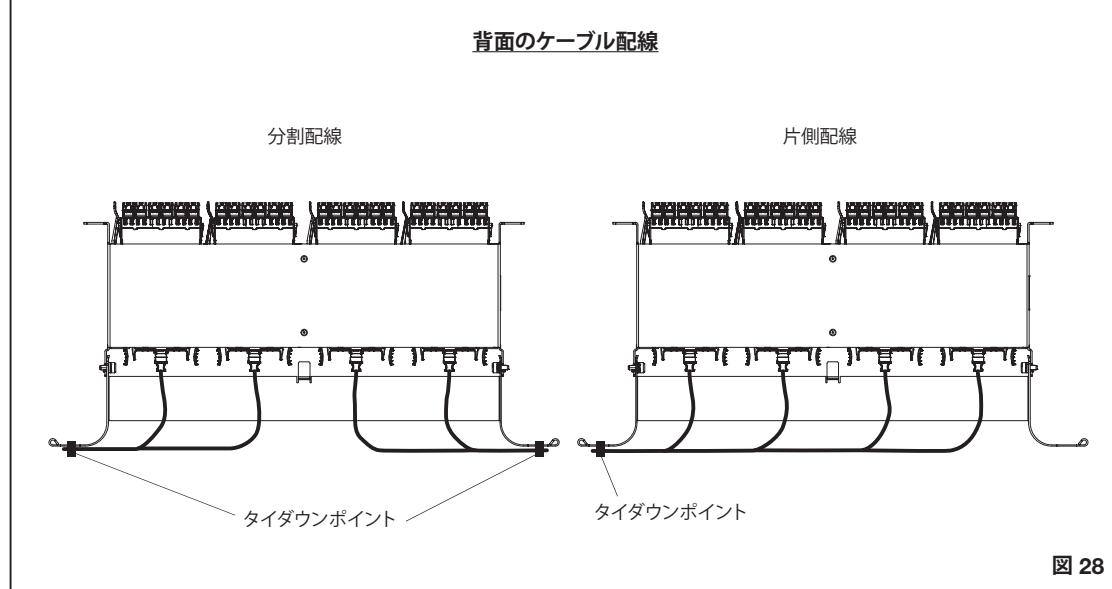
HD Flex パッチパネル用ケーブルマネージャーの取り付け



背面のケーブル配線



背面のケーブル配線



ケーブルマネージャーを使用する場合は、カセットから出ているケーブルを整え、タックタイで図 27 および 28 に示されているタイダウンポイントに固定します。すべてのカセットは HD FLEX パッチパネルで固定されているため、固定具は不要です。

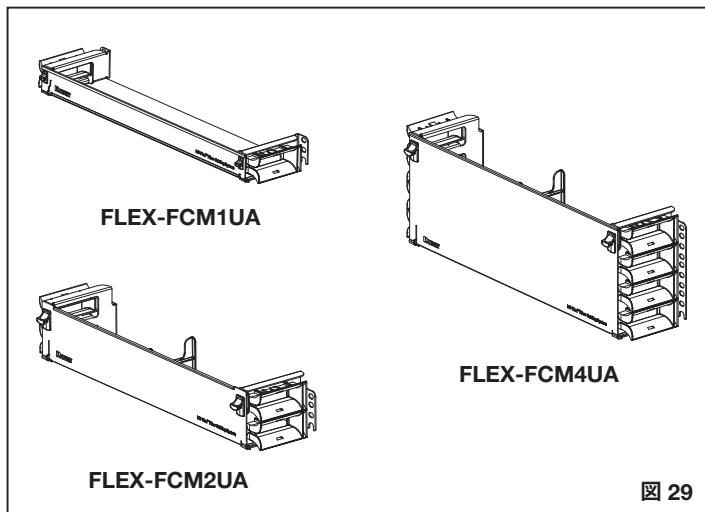
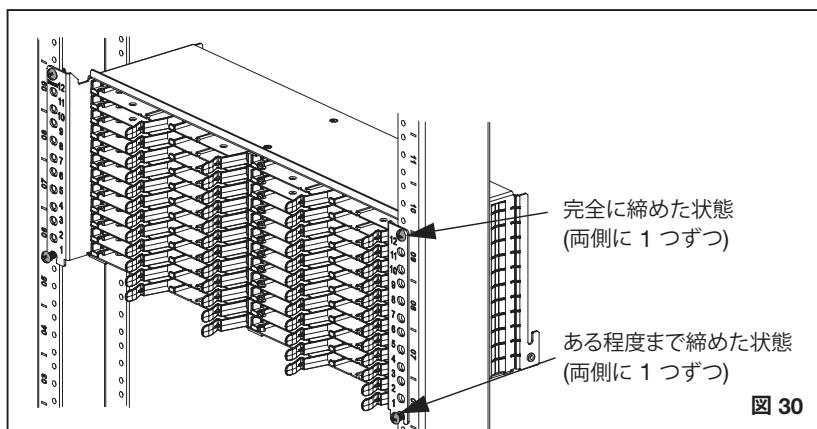


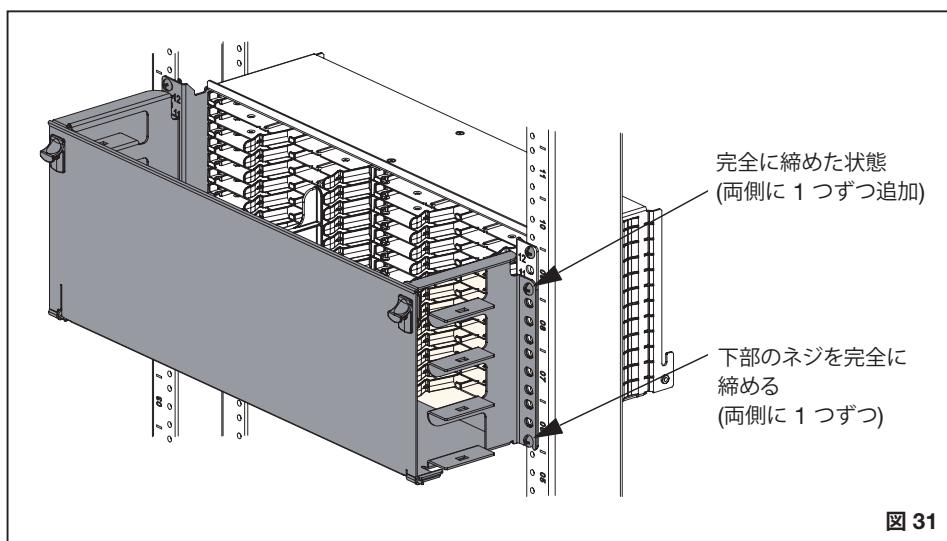
図 29

機器のマウントレール取り付け：



HD Flex パッチパネルをマウントレールに取り付けた後 (2RU および 4RU タイプはネジ 4 本、1RU タイプはネジ 2 本を使用)、一番下のネジは少し緩めて、一番上のネジは完全に締めます (図 30 参照)。1RU の場合は、下側のネジだけを使用し、少し緩めて固定します。

図 30



HD Flex 前面用ケーブルマネージャーを一番下のネジの上に置いてから、上部にネジを追加して固定します (図 31 参照)。下部の 2 本のネジを締めます。

図 31

ケーブル管理クリップの取り付け：

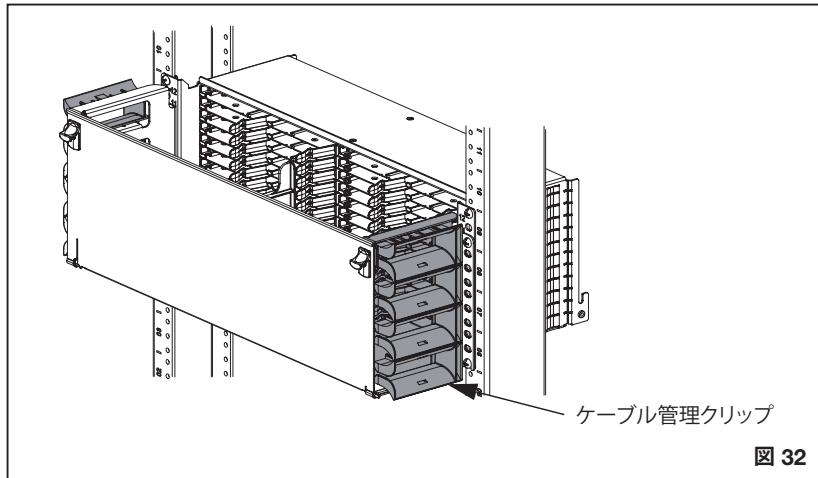


図 32

ケーブル管理クリップをケーブルマネージャーの両側の取り付けポイントに取り付けます。ケーブル管理クリップは、ケーブルスロットが前方を向くように取り付ける必要があります。クリップラッチが相手側スロットにしっかりとはまるることを確認します。

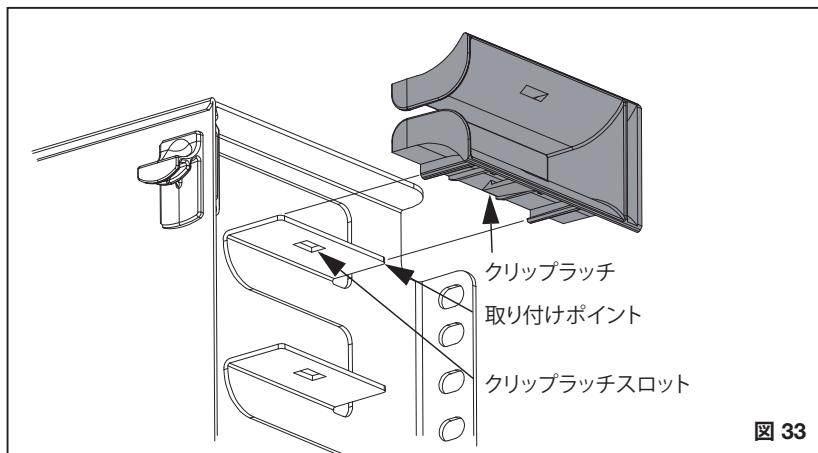


図 33

HD Flex 前面用ケーブルマネージャーのケーブル配線

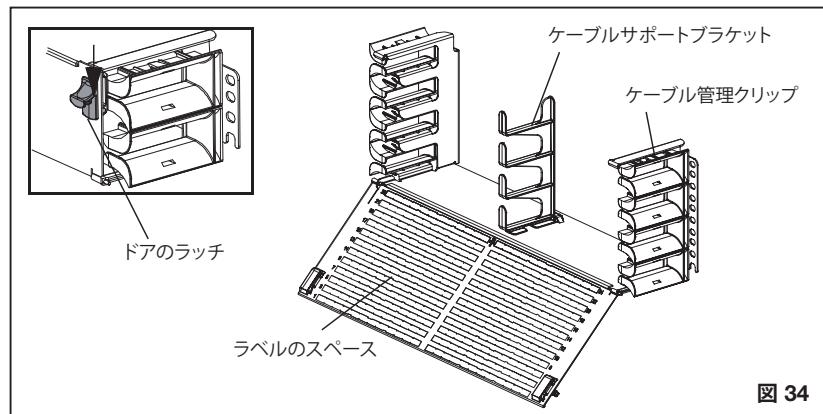


図34

ドアを開くには、ドアのラッチを押し下げたまま手前に引きます。

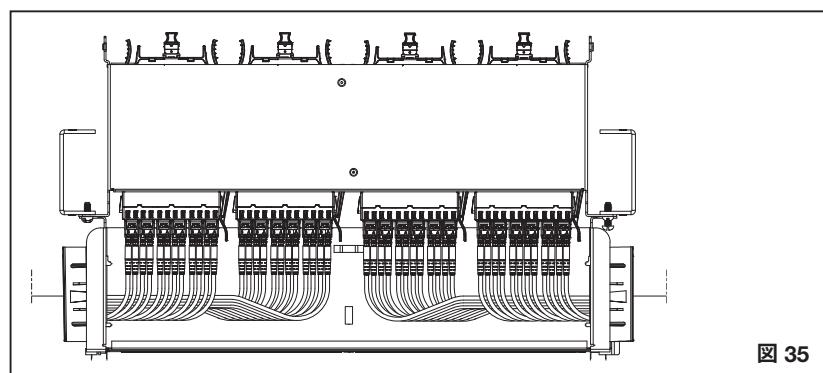


図35

パッチコードは、ケーブル管理クリップを介して両側(推奨)に配線し、タックタイで固定します(図35参照)。ケーブルサポートブラケットを取り外して、アクセスしやすくすることもできます。ケーブルサポートブラケットを取り外すには、(1) ブラケットの前面を引き上げ、(2) ユニットの前面に向かって引き出します(図36参照)。

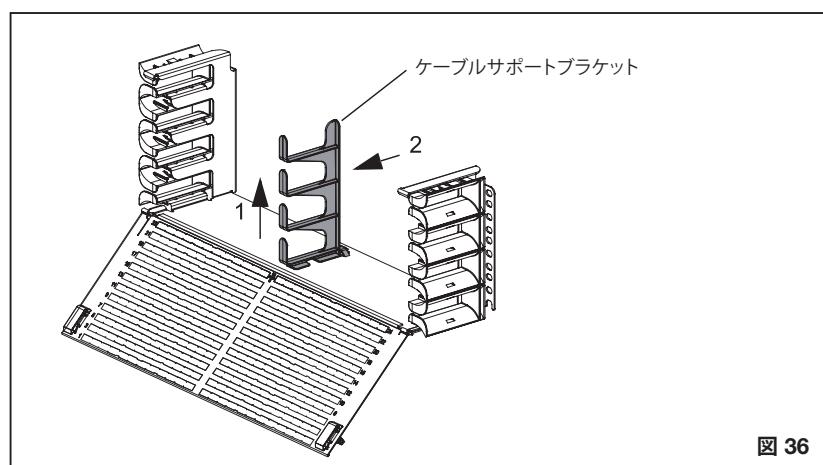


図36

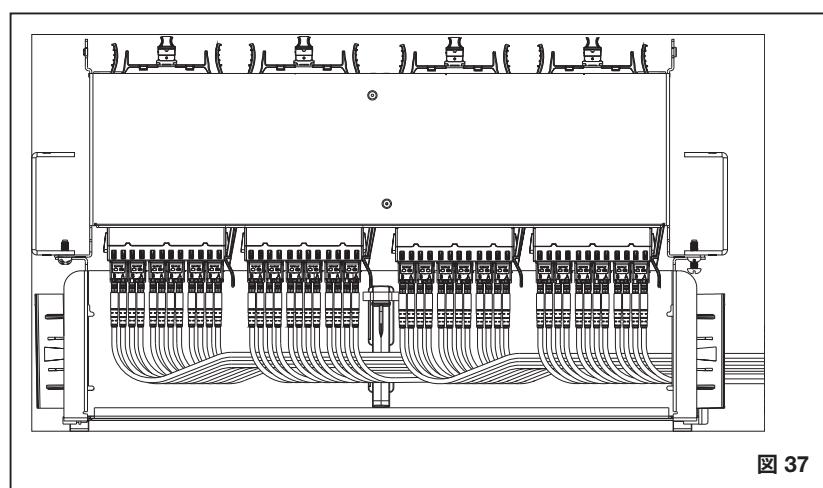
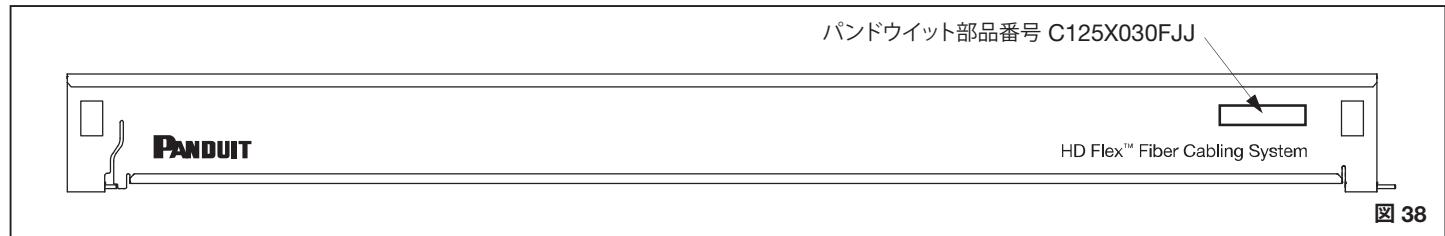


図37

パッチコードは、片側のケーブル管理クリップのみを介して配線することもできます(図37参照)。ケーブル管理クリップの反対側にあるパッチコードは、ケーブルサポートブラケット上に置く必要があります。また、ケーブルはタックタイで固定する必要があります。

ラベル

HD Flex 前面用ケーブルマネージャーのラベルオプションを使用すると、EIA 606-B ラベル標準に従う識別表示が可能になります。パンドウイット Easy-Mark ラベル印刷ソフトウェアと組み合わせて使用するパンドウイットラベルは、ラベルの作成を簡素化し、必要に応じて編集とラベルの交換を簡単にできます。前面用ケーブルマネージャーのドアの右上隅のラベル位置は、キャビネットまたはラック内の前面用ケーブルマネージャーを識別するために使用できます(図 38 参照)。パンドウイットラベルの部品番号 C125X030FJJ を使用します。



1U 前面用ケーブルマネージャーのラベルのレイアウトは、図 39 を参照してください。4RU のレイアウトは同じですが、3 つではなく 12 のトレイが含まれています。シングルポートには C061X030FJJ、2 ポートには C125X030FJJ、4 ポートには C252X030FJJ、6 ポートには C379X030FJJ のラベルを使用します。

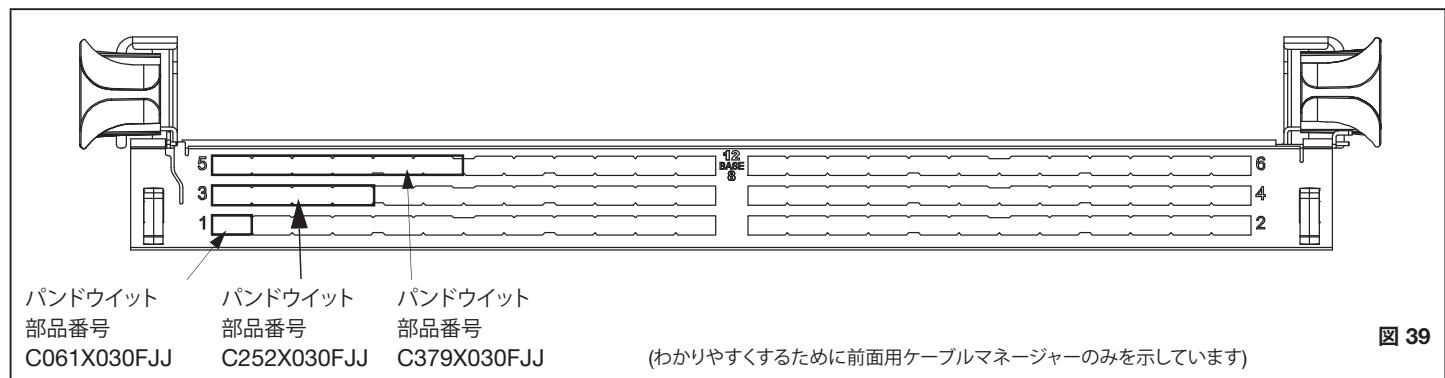
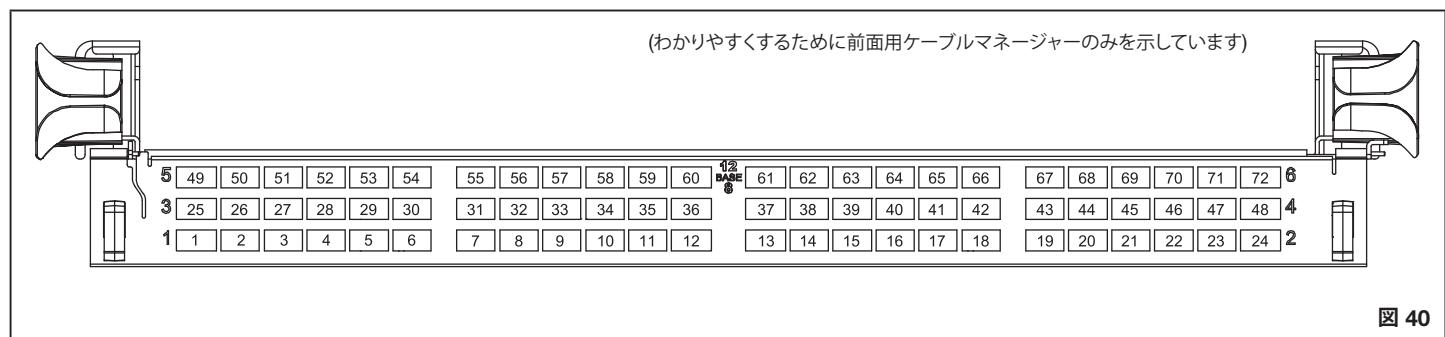


図 40 に示すように、前面カバーの内側のラベルはポートとトレイのラベルと一致しています。トレイ 1 は一番下のトレイで、左から右へポート 1 ~ 24 でレイアウトされています。



パンドウイットラベルの部品番号

部品番号	詳細
C061X030FJJ	白色、粘着性ポリオレフィンラベル、1 ポート識別 ID
C125X030FJJ	白色、粘着性ポリオレフィンラベル、2 ポート識別 ID
C252X030FJJ	白色、粘着性ポリオレフィンラベル、4 ポート識別 ID
C379X030FJJ	白色、粘着性ポリオレフィンラベル、6 ポート識別 ID